

# ウティット・ヘーマムーン

林立する高層ビル群とその間をぬように走る高架鉄道。ファストフード店の若者たちの手には村上春樹の小説。変貌した都市空間は、否応なしに個人と共同体の価値意識の解体を迫る。作家もまた例外ではない。ポストモダンの時代にあって、分節化され、記号と化した人間が物によってしか自己の存在を確認できなくなった時、伝統的なタイ文学の形式もまた終焉した。新しい表現技法の実験に向かう者、あたかも故国喪失者のように自己の存在理由を問う者、大胆な性表現で社会を挑発する者。ウティット・ヘーマムーンにとって、文学の出発点は自己解放としての「共同体のおぞましい秘密」の暴露であった。長篇小説『ラップレー、ケンコーイ』の、自伝的要素にフィクションを加えた複雑な構成は、ウティット自身の精神の放浪の軌跡そのものであるように見える。ウティットの世界を通じて、人々は間違いなく最新のタイ文学の世界に触れることができるだろう。[宇戸 清治]

私はどこから来たのか、

私はどこへ行くのか？

講演会

## 講演会日程 ◆ 入場無料

平成22年 3月18日 [木] 東京  
3月20日 [土] 福岡  
3月22日 [月・祝] 大阪  
3月27日 [土] 函館

コーディネーター：宇戸 清治 [東京外国語大学 教授]  
問い合わせ先・参加申込みは裏面をご覧ください。

主催：独立行政法人国際交流基金  
財団法人北海道国際交流センター [函館会場]  
財団法人大阪国際交流センター [大阪会場]  
福岡県、財団法人福岡県国際交流センター、  
九州大学アジア総合政策センター  
共催：財団法人アクロス福岡、タイ国政府観光庁 [福岡会場]

### ウティット・ヘーマムーン氏

#### ◆ プロフィール

1975年タイ中部サラブリー県に生まれる。絵を描くことが好きで、芸術大学に進学し絵画を勉強する。1999年の卒業後は、映画作りと音楽制作に没頭し、各地の教育機関で上映活動。さらに、マノプ・ウドムデート総監督の映画『銃口の花』で芸術部門監督を務める。2000年、雑誌に映画批評を掲載し始める傍ら、短編小説を執筆し始め、2009年、3作目となる長編小説『ラップレー、ケンコーイ』で東南アジア文学賞とセブンブック賞を受賞した気鋭の若手作家。現在はバンコクに居を定め、引き続き執筆活動に専念。



～私はどこから来たのか、私はどこへ行くのか?～

# ウティット・ヘー・マムーン 講演会

## お申し込みご案内

参加ご希望の方は、必要事項を明記の上、予めお申し込みください（会場ごとに講演テーマ及びお申し込み方法が異なりますので、ご確認ください）。ご応募多数の場合には先着順（大阪会場は抽選）とさせていただきますので、ご了承ください。詳細は国際交流基金ウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.jpff.go.jp/j/culture/civil/kaiko/kouen19.html>

**入場：無料**  
使用言語：タイ語  
（日本語逐次通訳付）

\*講演会ご来場者には、講演内容に関連する短編翻訳集（本邦未発表作品）をお配りします。\*頂いた個人情報は厳重に管理し、本イベント以外の目的には使用致しません。

◆ **東京会場** [定員84名]——**表象芸術から文学へ：私の中での芸術の転換**  
国際交流基金 JFICホール（さくら）（新宿区四谷4-4-1）  
日時：平成22年3月18日（木）19:00～21:00



東京メトロ丸の内線「四谷三丁目駅」1番出口から徒歩3分

- **お申込先：**国際交流基金 生活文化チーム  
「アジア作家講演会」係  
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1
- **お申込方法：**ハガキ、

- FAX、Eメール（①氏名（ふりがな）、②住所、③連絡先、④職業、⑤参加人数を明記）
- **お申込期限：**平成22年3月16日（火）
- **申込多数の場合：**先着順、定員数を越えた場合のみご連絡いたします。連絡のない場合は、当日会場に直接お越しください。
- TEL: 03-5369-6060 FAX: 03-5369-6036
- E-MAIL: [kaiko2010@jpff.go.jp](mailto:kaiko2010@jpff.go.jp)

◆ **福岡会場** [定員100名]——**叙述の力：事実と虚構の間で**  
アクロス福岡 円形ホール（福岡市中央区天神1-1-1）  
日時：平成22年3月20日（土）15:00～17:00

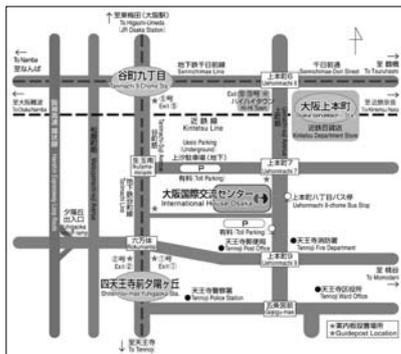


市役所北口バス停から徒歩0分/天神4丁目バス停から徒歩3分/天神郵便局バス停から徒歩5分

- **お申込先：**（財）福岡県国際交流センター  
「アジア作家講演会」係  
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1  
アクロス福岡8階
- **お申込方法：**ハガキ、FAX、Eメール（①氏名（ふりがな）、②住所、③連絡先、④職業、⑤参加人数を明記）

- **お申込期限：**平成22年3月15日（月）
- **申込多数の場合：**先着順、定員数を越えた場合のみご連絡いたします。連絡のない場合は、当日会場に直接お越しください。
- TEL: 092-725-9204 \*受付時間 [平日9:00～17:45（土、日、祝日を除く）]
- FAX: 092-725-9205 E-MAIL: [exchange@kokusaihiroba.or.jp](mailto:exchange@kokusaihiroba.or.jp)

◆ **大阪会場** [定員90名]——**芸術の世界：私を虜にした文学の魅惑**  
大阪国際交流センター 会議室（銀杏）（大阪市天王寺区上本町8-2-6）  
日時：平成22年3月22日（月・祝）14:00～16:00



近鉄「大阪上本町」駅から徒歩5分/地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅、「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩10分/地下鉄千日前線「谷町九丁目」駅から徒歩10分/市バス「上本町八丁目」バス停から徒歩1分

- **お申込先：**財団法人大阪国際交流センター  
情報企画部「アジア作家講演会」係  
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
- **お申込方法：**ハガキ、FAX、

- Eメール（①氏名（ふりがな）、②住所、③連絡先、④参加人数を明記）
- **お申込期限：**平成22年3月12日（金）\*定員に達しない場合は、3月21日（日）まで受付。
- 締め切り後、参加票をお送りします。（申込多数の場合は抽選）
- TEL: 06-6773-8182 FAX: 06-6773-8421
- E-MAIL: [johokikaku@ih-osaka.or.jp](mailto:johokikaku@ih-osaka.or.jp)
- URL: <http://www.ih-osaka.or.jp/>

◆ **函館会場** [定員108名]——**作家の立脚点：現代タイ文学のこれから**  
サン・リフレ函館（函館市勤労者総合福祉センター）（大会議室）（函館市大森町2番14号）  
日時：平成22年3月27日（土）14:00～16:00



函館空港から車で20分/JR函館駅から徒歩15分/市電松風町停留所から徒歩10分/函館バスサン・リフレ函館前停留所から徒歩1分

- **お申込先：**財団法人北海道国際交流センター

- 〒040-0054 函館市元町14-1
- **お申込方法：**ハガキ、FAX、Eメール（①氏名（ふりがな）、②連絡先を明記）
- **お申込期限：**平成22年3月25日（木）
- **申込多数の場合：**先着順
- TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0660
- E-MAIL: [info@hif.or.jp](mailto:info@hif.or.jp)

## 開高健記念アジア作家講演会シリーズ

国際交流基金では、1989年に亡くなられた開高健氏のご遺族から寄せられた志をもとに、90年より「アジア作家講演会シリーズ」として、毎年アジアより文学関係者を日本に招へいし、日本では紹介される機会の少ないアジアの文学を多くの人々に紹介しています。

● 開高健（1930～89）は混迷をきわめる現代社会とそこに生きる人々に真摯なまなざしを注ぎつけ、小説のみならず、ルポルタージュ、エッセイ、釣りを中心としたフィールドワーク、広告コピー、雑誌編集など多種多様な分野で活躍しました。変化と驚異を求めると、不変・普遍なるものを求める心——このふたつの心の衝迫のままに世界を駆けめぐり、人生を旅した開高健は、歴史上のホット・スポットに数多く立ち会い、自身の捉えた現実を臨場感あふれるルポルタージュという形で発表して同時代の問題に対峙しつづける一方、体験を醸成・深化させ、時空を超えて読み継がれる幾多の優れた小説作品に結実させました。58年の生涯において、海外に赴くこと20回以上、訪れた国は40カ国以上であり、「行動する作家」でありつづけました。

「開高健展」（1999年4月 主催：県立神奈川近代文学館・財団法人 神奈川文学振興会）企画書より